

品種試験って何がわかるの？

大玉トマト・ミニトマトの品種比較試験も6月末で終了となりました。  
この試験では、毎月、収量や生育のデータをまとめて全社に発信しています。

□営業が品種の特性の把握をする □農場に来てくださったお客様に説明するなど、様々なところで活用しています。  
メーカー様の試交品種など、取り扱い注意なデータは細心の注意を払っています。

今回は、農場の品種比較試験の調査についてご紹介します！  
かなり詳細にデータを取っていますので、興味がある方はぜひ農場へ来てください。

① 収穫調査(2回/週)

1品種あたり5株を決め、週に2回調査。1個ずつ、割れや大きさ、柔らかさ、傷など見ていきます。



② 生育調査(1回/月)

1品種あたり3株を決め、月末に調査。  
根元からの草丈、葉枚数を測り、そこから節間長も割り出します。



③ 糖度調査(1回/月)

1品種あたり5個、月末に調査。  
糖度計で果汁の糖度を測ります。  
実際に食べて、食感や酸味も比べます。



④ データまとめ

各調査の結果を品種ごとにグラフと表にまとめています。

農場では、このような詳細なデータと、実際の栽培状況を見比べながら、品種・栽培についての相談に乗らせていただきます☺

●株あたり収量(g)

- ・どの品種が収量が出るだろう
- ・どの時期に調子が良い品種なのか



●B品内訳

- ・この品種はなぜ収量が伸びないのか
- ・裂果が多い品種はなんだろう

次作は7月末の定植を予定しております！

品種検討の際はぜひ農場見学に来てください！

農場見学の申し込みは各営業担当者までお問い合わせください。